



共立

パックテスト®

使用法

# pH-PR (水道用)

型式 WAK-PR

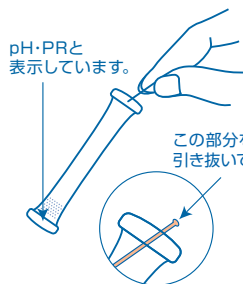
pH 指示薬の発色による

Visual Colorimetric Method with Phenol Red

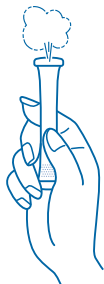
主試薬 フェノールレッド

測定範囲 pH6.2以下~8.8以上

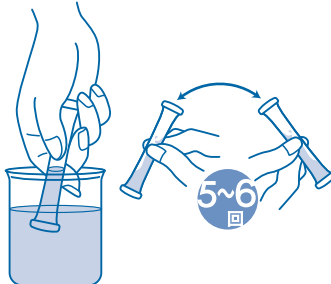
## 測り方



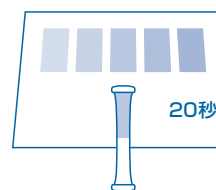
① チューブ先端のラインを引き抜きます。



② 穴を上にして、指でチューブの下半分を強くつまみ、中の空気を追い出します。



③ そのまま穴を検水の中に入れ、つまんだ指をゆるめ、半分くらい水を吸い込むまで待ちます。液がもれないようにかかるく5~6回振り混ぜます。



④ 20秒後にかかるく振り混ぜてから図のように標準色の上ののせて比色します。

## 比色と測定値の読み方

指定時間後にチューブ内の水の色を標準色と比べ、一番近い色の値がその検水の測定値になります。標準色の色と色の間の場合は、だいたいの中間の値を読んでください。

## パックテスト使用前、使用後の取扱い注意

### 応急措置

内容物が目に入ってしまったら → すぐに多量の水で洗い流してください。

内容物が皮膚や衣服にふれたら → すぐに水で洗い流してください。

内容物が口に入ってしまったら → すぐに水で口の中を洗い流してください。

内容物を飲み込んだり、上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

### 保管

ラミネート包装を開封した後は、なるべく早くご使用ください。

### 廃棄

事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄してください。

それ以外の場合は、チューブはそのまま「燃やすゴミ」としての廃棄も推奨しています。

### 試薬に関するお知らせ

本製品は、取扱い者へのMSDSの提供を義務づけた「PRTR法」、「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。



株式会社 共立理化学研究所

KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11

TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666

http://kyoritsu-lab.co.jp kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

### 特徴

この製品は、pH指示薬としてフェノールレッド(PR)を用いており、水道水(水質管理目標設定項目:pH値7.5程度)やプール水などの中性～弱アルカリ性のpHを簡単に測定することができます。

フェノールレッドは、「上水試験方法(2011年版)Ⅱ.理化学編Ⅱ-3 一般理化学 9. pH値 [参考]比色法」や「震災等の非常時における水質試験方法(上水試験方法-別冊)第I章 飲料水編 I-2 試験方法 5. pH値<汎用法> 5.2.3 pH比色測定器」で指示薬として採用されています。

### 注意

1. この製品は水道水などの緩衝性の弱い、きれいな水のpH測定に適しています。
2. 1回で検水をチューブの半分近くまで吸い込めなかった時には、穴を上にして空気を追い出し、もう一度やりなおしてください。
3. 比色する時に、多少試薬が溶解せずに残っていても測定には影響ありません。
4. 容器や手の汚れはpH値に大きく影響します。容器や手をよく洗ってから測定してください。
5. 検水の温度は15～40℃で行なってください。
6. 比色は昼光で行なってください。直射日光や一部の蛍光灯、水銀灯、LEDでは比色が困難になることがあります。
7. 発色後にラインをチューブ先端の穴に戻すと、チューブ内の水がもれなくなります。

### 共存物質の影響

検水中に塩類、タンパク質、溶剤が共存すると、誤差を生じる場合があります。このような検水は、pH電極等で確認してから測定してください。

検水中に残留塩素が2mg/L程度まで共存しても測定には影響ありません。それ以上の高濃度で共存する場合、紫色等の異常発色を生じます。チオ硫酸ナトリウム溶液等で残留塩素を除去してから測定してください。